

《担当者名》橋本竜作

【概要】

心理学では行動や心理状態、認知機能を測るために、多くの測定法を開発してきた。その技術は言語聴覚士が臨床現場で患者さんの症状を評価する際にも活かされている。本講義は、精神物理学的測定法の体験を織り込みながら、障害を評価するための測定法について学ぶ。

【学修目標】

ひとの行動や心理状態、認知機能を評価する方法の背景を理解するために、心理測定法について学び、代表的な方法に関する基礎的知識を習得し、その具体例を知る。

1. 精神物理学的測定法の種類と誤差について説明できる。
2. 尺度水準と、種々の尺度構成法について説明できる。
3. 測定の信頼性と妥当性、標準化について説明できる。
4. 観察法、質問紙法、実験法の概要を説明できる。
5. 研究の種類と、データ解析について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理測定法とは	他科目との関連性を理解する。 尺度水準について理解する。	橋本竜作
2	精神物理学的測定法	種々の測定法と誤差について理解する。 (調整法・極限法・恒常法・ME法など)	橋本竜作
3	精神物理学的測定法	体験を通して測定法を理解する。 (ミュラーリヤー錯視)	橋本竜作
4	尺度構成法	様々な尺度の作成法を理解する。 (評定法・順位法・一対比較法・SD法など)	橋本竜作
5	調査法	質問紙法の概要を知る。 (サンプリング、因子分析)	橋本竜作
6	テスト理論	信頼性と妥当性、その検証法について知る。	橋本竜作
7	テスト理論	標準得点と、その利用法を理解する。	橋本竜作
8	観察法	観察法の概要を知る (自然観察と実験観察)	橋本竜作
9	実験法	実験法の概要を知る。 (独立変数・従属変数・剰余変数の統制)	橋本竜作
10	研究法	研究の種類を知る。 (質的研究・量的研究)	橋本竜作
11	研究法	研究の進め方とデータ解析について知る。	橋本竜作
12	まとめ	小テストと、その解説を通じて内容の定着を図る。	橋本竜作

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト・レポート課題（30％）と、定期試験（70％）を総合して評価を行う。
小テスト・レポートで多かった誤り、特徴的な問題点について講義する。
試験実施後、問い合わせがあった際には解答の要点を掲示する。

【教科書】

指定なし

【参考書】

市川伸一 編著 「心理測定法への招待 測定からみた心理学入門」 サイエンス社 1991年

高野陽太郎 編著 「心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし」 有斐閣 2004年
中沢 潤 他 著 「心理学マニュアル 観察法」 北大路書房 1997年
鎌原雅彦 他 著 「心理学マニュアル 質問紙法」 北大路書房 1998年
保坂 享 他 著 「心理学マニュアル 面接法」 北大路書房 2000年
山田剛史 他 著 「よくわかる心理統計」 ミネルヴァ書房 2004年

【学修の準備】

予習は講義前「授業内容及び学修課題」にある内容を調べて、予習に努める（80分）。

復習は配付資料、授業で解説した内容をまとめ、自身のことばで説明できるようにする（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。